

作成：2023年1月5日

オルソケラトロジーにおける近視化と角膜形状についての検討の研究について

今回、府中アイセンターではオルソケラトロジーを施行された患者さんの状態を調査することになりました。

小児の近視化については様々な議論があり、新しい治療方法や知見が報告されています。その中でもオルソケラトロジーは近視抑制効果を有することが多くの論文で報告されています。

- 上記の治療の対象となると判断した患者さんにこの研究へのご協力をお願いしています。
- 今回の研究に関して患者さんの治療前後の診察時データを診療録から抽出し、調査することが目的ですので、患者さんに侵襲が及ぶ研究を行う訳ではありません。
- 個人名は研究用に付与される番号等で匿名化し、個人情報公表されることはありません。
- 本研究に同意されない場合、同意を撤回された場合でも、診察内容に関して何ら変わることはありません。また、本研究はいつでも撤回でき、撤回しても患者さんに不利益は起こりません。
- この研究は府中病院の URL で情報公開しています。患者さんが希望される場合は学会での研究成果、研究計画書の閲覧が可能です。
- 当研究において追加の研究が将来必要であると考えられた場合は改めて倫理委員会の審査を受け、重要な研究結果が出た場合は、直接患者さんにお伝えする、または上記 URL で情報公開いたします。尚、この研究は府中病院単独研究であるため、情報の2次利用のための保存は厳重に管理し、他病院への情報提供の可能性はありません。
- 患者さん、またはその関係者の方から不明な点がございましたら府中病院アイセンターにご相談ください。

府中病院 アイセンター

大阪府和泉市肥子 1-10-17 TEL 0725-90-5123

問い合わせ医師 立花 都子

皆様には、本研究の主旨についてご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。

府中病院 アイセンター センター長

下村 嘉一